

2024(令和6)年度埼玉県・オハイオ州スカラシップ

〈語学・大学留学コース〉

“Encounter”：3月報告レポート

2024(令和6)年度奨学生 福澤 心結

皆さま、こんにちは。日々、時間の経過の速さに追われて過ごしていますが、春の暖かい気温を感じると少しほっとした気持ちになります。しかし、その一方で、帰国が近づいていることを実感し、再び焦りを感じているところです。

今月のレポートでは、Cross-Cultural-Communication という授業の一環で、様々な貴重な経験をさせていただいているので、いくつかの活動を紹介したいと思っています。

○Funday Sunday “Game on”

この活動は、大学のキャンパス内に位置している、*University of Findlay's Mazza Museum* で定期的に行われています。Mazza Museum の「Funday Sunday」では、テーマごとの家族で楽しめる学びのイベントを通じて、芸術的表現を促し、リテラシーの向上を図り、批判的思考スキルを養うことを目指しているそうです。私が参加した日は、「Game on」というテーマだったので、世界の遊びということで、日本の遊びである、紙相撲、けん玉、だるま落としのブースを開きました。雨の日にもかかわらず、たくさんの親子が来てくれました。親子で対話をしながらそれぞれのブースを回り、大学生とゲームを楽しんだり、各ブースでもらった小さなお菓子を袋に詰めている姿などから、大学と地域との結びつきの強さや、世代間交流の広がりを感じることができ、このイベントの魅力を実感しました。

○International game at 50north

このイベントでは、「50north」という施設に訪問し、50代以降の方々と交流しながら、折り紙を一緒に楽しみました。「50north」は、高齢者が自立して充実した生活を送るために、多様なサービスを提供する施設で、地域の高齢者とその家族を支えることを目的としています。大きく日本の老人ホームと違うところは、老人ホームは、介護が必要な高齢者向けの施設で生活の場としての機能が強いのに対して、「50north」は、フィットネスやアートなどアクティブな生活を送るためのコミュニティ作りをメインに行っているところです。より人生を豊かに生きるための役割を担っているこの施設を訪れ、生き生きとした50代以降の方々と交流したことにより、人と人とのつながりの大切さを改めて感じる貴重な機会となりました。

○Cory Rawson High School

大学近くに位置する Cory Rawson High School を訪問し、“Food and Culture”という授業に参加しました。ここでは、まず日本について簡単なプレゼンテーションを行った後、生徒たちと一緒におにぎり作りを体験しました。数種類のふりかけを持参したところ、それぞれのフレーバーに興味を持って味見してくれたり、「丸い形にしようか、三角にしようか」と楽しみながらおにぎりを作る様子が印象的でした。また、日本文化が好きな生徒とも出会う

ことができました。日本のアイドルグループの T シャツを着用し、日本について豊富な知識を持って話してくれる姿が心に残っています。このほかにも、地域の図書館や、大学のキャンパス内で子ども達と交流をしています。それぞれの場所で出会えた方々と過ごせた時間は私にとって大切な思い出です。残りの滞在期間中も、さまざまな活動に積極的に参加し、貴重な経験を重ねていきたいと考えています。



↑ Funday Sunday



↑ Cory Rawson High School



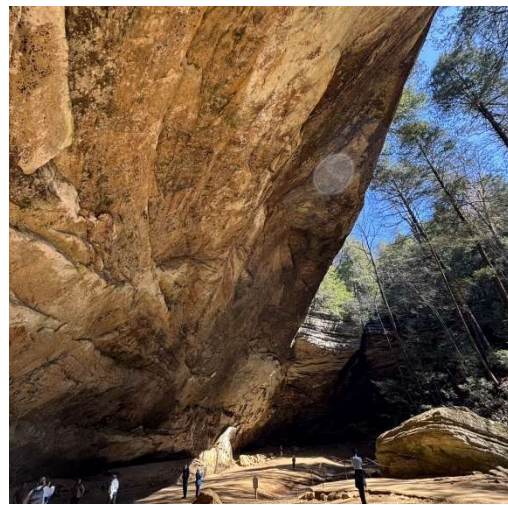
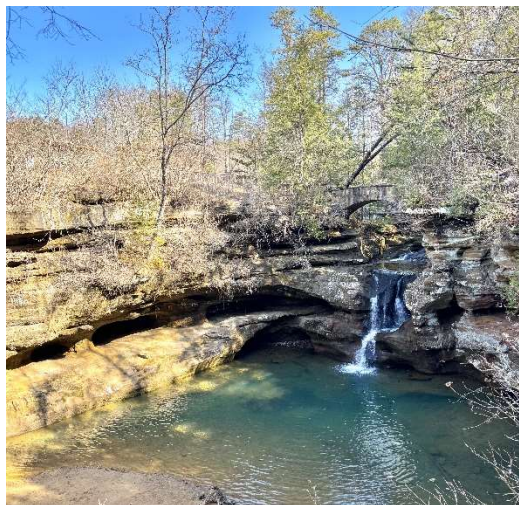
↑ At the University of Findlay

3月8日から3月16日まで春休みであったため訪れた場所についても紹介します。私は、大学生活全般をサポートしてくれている Buford Center 主催の旅行企画に参加しました。この企画では、3泊4日の日程で、オハイオ州南部ホッキング郡に位置する Hocking Hills State Park（ホッキング・ヒルズ州立公園）を訪れ、ハイキングを楽しみました。そして滞在したコテージはとても豪華で、特にお気に入りだったのは、屋外ジャグジーが備え付けられていたことです。温泉が大好きな私は留学生活中にお風呂が恋しく感じていたため、美しい夕日を眺めながら、さまざまな国から来た人達とお話をしながら浸かったホットタブが忘れられません。



そして訪れたホッキング・ヒルズ州立公園は、ウェイン国有林の一部でもあり、美しい自然景観と長い歴史を有する場所です。1600年代から1700年代にかけて、ショーニー族、デラウェア族、ワイアンドット族といったアメリカ先住民の人々が、この地域の豊かな自然資源を活用しながら、狩猟や生活を営んでいました。さらに、考古学的な調査により、およそ7000年前には既にこの地に人々が住んでいたことも確認されているそうです。

実際に現地を訪れてみると、写真で見るよりかはるかに壮大な自然に圧倒され、心身ともにリフレッシュすることができました。



別の日には、友人にトレド動物園へ連れて行ってもらいました。トレド動物園は、水族館、植物園、博物館の要素も併せ持つ総合的な施設で、見どころがたくさんあり満足感がとても高かったです。また、トレドのダウンタウンを訪れた際に、見知らぬ人が車の窓をノックして話しかけてお金を要求してきたことが印象に残っています。また、友人は通行人や周囲の様子を常に気を配っていて、「何かあるかわからないから油断できないよ」と、安全面にとっても注意を払っている様子でした。普段過ごしているフィンドレーは非常に治安が良いため、私はあまり警戒心を持っていなかったのですが、この経験を通して自分がいかに安全な環境で育ってきたのかを改めて実感しました。



参考文献

「'Funday Sunday' Offers Arctic Adventures at Mazza Museum Dec. 8」 Findlay Newsroom
<https://newsroom.findlay.edu/> (アクセス日：2025:4月6日)

50 North 公式ウェブサイト. <https://www.50north.org/> (アクセス日：2025年4月6日)

「A Brief History of Hocking Hills State Park」 A Collaborative Program of the Ohio History Connection and the State Library of Ohio

[A Brief History of Hocking Hills State Park](#) – (アクセス日：2025年4月6日)